

(社)日本塗料工業会登録		
登録番号	#300T	MO3027
	#5500N	MO3018
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	
問い合わせ先	http://www.toryo.or.jp	

駐輪場用防滑仕様

防滑性、耐摩耗性、耐久性



駐輪場はコンクリート、アスファルト、金属などの様々な床面に屋内外を問わず設置されていますが、人と自転車が共有する場所であるため安全性が優先されます。特に勾配のある箇所や降雨などで濡れた床面はスリップ転倒などの事故につながる可能性があります。

本仕様は防滑性とカラーリングによる分け方で、安全で快適なスペース作りに貢献します。

特長

F☆☆☆☆

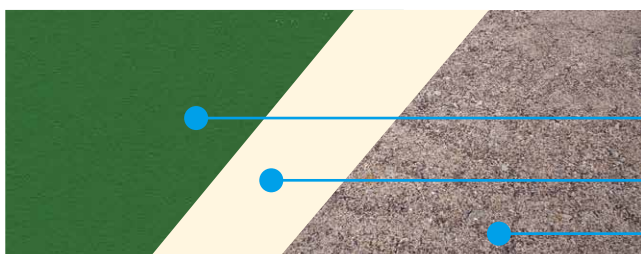
ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は
規制対象外である。

1. 防滑仕様で、人、自転車のスリップ事故を防ぎます。
2. 屋内、屋外ともに使用可能です。

塗装工程

平滑仕様は、別途ご相談ください。
駐輪機の改修は別途ご相談ください。

1. コンクリート面

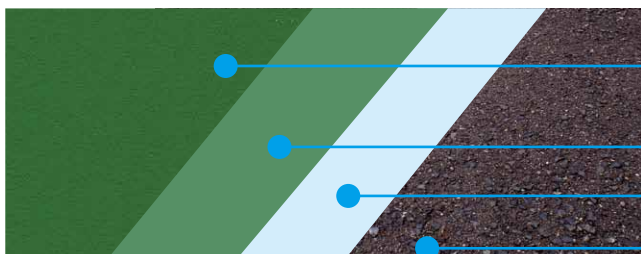


上塗り：水系ボウジントックス #300T (2回塗り)
(防滑骨材既調合)

下塗り：水系ボウジントックスエポキシシーラー

基 材：コンクリート面

2. アスファルト面



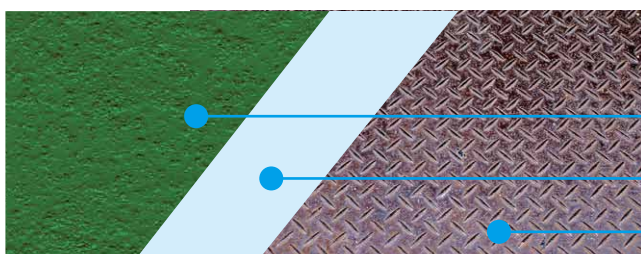
上塗り：水系ボウジントックス #300T
(防滑骨材既調合)

中塗り：水系ボウジントックス #300N
(防滑骨材既調合)

下塗り：水系ボウジントックスシーラー

基 材：アスファルト面

3. 金属面 (縞鋼板等)



上塗り：ボウジントックス #5500N (2回塗り)
(防滑骨材既調合)

下塗り：ハイエボン #1000

基 材：金属面

塗装仕様

ボウジンテックス

駐輪場用防滑仕様

■コンクリート面 (施工時の気温15℃以上)

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	駐輪可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリシナーまたはライナックス等で塗料が含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、十分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	水系ボウジンテックスエポキシシーラー 主剤 12kg 硬化剤 4kg	0~0.8kg 清水	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	100~133	40分以内	—	8h以上 48h以内	—
上塗り	水系ボウジンテックス#300T 20kg	0.4~0.8kg 清水	リシンガン ローラー	2	0.3~0.4	25~33	—	2h以上	—	24h以上

* 塗分量には希釈水は含まれていません。塗分量は条件により増減します。
* 施工気温が15℃以下の場合、上塗り施工後にクラックが発生することがありますので、下塗りにボウジンテックス強化シーラーをご使用ください。

■アスファルト面 (細面の場合)

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	駐輪可能
素地調整	新設の場合は2週間以上期間をとり、表層の油分をなくす。転圧が十分行われていることを確認する(簡易アスファルトの場合は、塗装後、アスファルトが持ち上がるので塗装を避ける)。アスファルトのくぼみに溜まった土砂を取り除くため、デッキブラシ等を併用して水洗する(油分がある場合は洗剤を使用する)。水洗後、自然乾燥する。									
下塗り	水系ボウジンテックスシーラー 15kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.2~0.3	50~75	—	—	2h以上	—
中塗り	水系ボウジンテックス#300N 20kg	0.2~0.5kg 清水	レーキ ローラー 併用	1	0.6~1.0	20~33	—	—	2h以上	—
上塗り	水系ボウジンテックス#300T 20kg	0.4~0.8kg 清水	リシンガン ローラー	1	0.3~0.4	50~67	—	—	—	24h以上

* 塗分量には希釈水は含まれていません。塗分量は条件により増減します。

■金属面

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	駐輪可能
素地調整	錆の発生が進行していたり、フレ、ハガレ等のある場合は、3種クレンにより錆や死膜を除去する。その後、ゴミ、汚れ、油分を除去し、乾燥した清浄な面にする。									
下塗り	ハイエボン#1000 主剤 16kg 硬化剤 4kg	0~2L 専用シンナー	ハケ ローラー	1	0.15~0.18	111~133	8h以内	—	16h以上 30日以内	—
上塗り	ボウジンテックス#5500N 16kg	0~2L 専用シンナー	ハケ ローラー	2	0.3~0.4	20~26	—	2h以上	—	24h以上

* 塗分量にはシンナーは含まれていません。塗分量は条件により増減します。

性能

試験項目	試験方法	結果	
		#300T	#5500N
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付500μm	2±1	4±1
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	2B	H
耐摩耗性 (mg) (摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17 荷重500g×2.1000回転	75±10	35±10
耐水性	JIS K 5600-6-2に準ずる。 水道水に7日間浸せき	異常なし	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水酸化カルシウム飽和水溶液に48時間浸せき	異常なし	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	白化	若干艶引け
耐温水性	50℃温水に48時間浸せき	白化	異常なし
ホルムアルデヒド放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆	

荷姿

上塗り材	水系ボウジンテックス #300 T 20 kg ボウジンテックス #5500N 16 kg ・ 4 kg
中塗り材	水系ボウジンテックス #300N 20 kg
下塗り材	水系ボウジンテックスシーラー 15 kg ・ 4 kg 水系ボウジンテックスエポキシシーラー 16 kg ・ 4 kgセット (主剤12kg / 硬化剤4kg) (主剤3kg / 硬化剤1kg) ハイエボン #1000 20 kg ・ 5 kgセット (主剤16kg / 硬化剤4kg) (主剤4kg / 硬化剤1kg)
希釈剤	ボウジンテックス #5500N シンナー 16 L ・ 4 L ハイエボン #1000 シンナー 16 L ・ 4 L

注意事項

1. 水系の床用塗料は、気温10℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、乾燥不良をおこすことがありますので施工を避けてください。
2. 溶剤系の床用塗料は、気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良をおこすことがありますので施工を避けてください。
3. モルタルコンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程十分に乾燥させてください。
4. 塗装や塗料取り扱い時は、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には十分注意してください。
5. 塗装中に開放して放置しますと上乾きする事がありますので注意してください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
6. 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
7. タイプの種類によっては、可塑剤が移行する場合があります。
8. 使用前には十分攪拌してください。
9. 2液硬化型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で十分攪拌してください。
10. 2液硬化型の塗料は、塗料毎の可使用時間内に塗装してください。
11. 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
12. 小分けする場合は、十分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
13. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
14. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーを使用してください。
15. 主剤と硬化剤は別々に密栓し、暗所に保管してください。又、開栓後は早目に使い切ってください。
16. 保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
17. 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。
18. 排水溝には捨てないでください。
19. 静電気をきらう床には塗装しないでください。
20. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
21. 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛ける事がありますので、十分に配慮をお願いします。
22. 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

【ボウジンテックス#5500N】

1. 水を使うモルタル・コンクリート面への塗装は、耐アルカリ性が劣るため避けてください。又、屋外のコンクリート面も避けてください。
2. アスファルト面の塗面積は、表面の粗密によりかなり増減します。
3. 塗料が染み込んだウエスは自然発火するおそれがあります。使用したウエスは必ず水の入った容器に入れて処理してください。

【ハイエボン #1000】

1. 旧塗膜がタール系の場合、ブリードが生じますので使用しないでください。

【水系ボウジンテックスシーラー】

1. 水系ボウジンテックスシーラーのアスファルト面への塗面積・塗分量はアスファルト細面を基準としています。(粗面の場合は、約2倍の塗分量が必要です)
2. 水系ボウジンテックスシーラーと上塗り塗料との混合は絶対に避けてください。(混合するとゲル化します)

【水系ボウジンテックスエポキシシーラー】

1. 水系ボウジンテックスエポキシシーラーは、可使用時間を過ぎても増粘・ゲル化は起こりませんが、付着性が低下しますので、可使用時間内に手際よく塗装してください。
2. 気温10~15℃で下塗りに水系ボウジンテックスエポキシシーラーを施工するとクラックが発生する場合があります。冬季施工においては下塗りにボウジンテックス強化シーラー(溶剤系)を使用してください。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・高松・広島・福岡・北海道

カタログ掲載の内容は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1205030131015